



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 岡本工作機械製作所
コード番号 6125 URL <http://www.okamoto.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 西本 實男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 高橋 正弥

TEL 027-385-5800

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,274	△5.0	△758	—	△852	—	△982	—
25年3月期第2四半期	8,712	△14.7	△98	—	△425	—	△501	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △871百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △752百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△22.14	—
25年3月期第2四半期	△11.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	26,715	8,013	30.0	180.72
25年3月期	26,966	8,826	32.7	199.02

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,013百万円 25年3月期 8,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期の1株当たり配当予想額は、現時点では未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,600	2.8	800	159.4	500	112.6	400	263.7	9.02

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
特定子会社には該当いたしません。第1四半期連結会計期間より岡本工機(常州)有限公司を連結の範囲に含めております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	47,178,956 株	25年3月期	47,178,956 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,838,131 株	25年3月期	2,827,651 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	44,345,773 株	25年3月期2Q	44,360,843 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 26年3月期の配当予想につきましては、今後の業績動向等を見極めつつ検討したいと考えており、現時点では未定であります。予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政治主導による経済政策への期待から円高修正や株高が進み、企業心理も好転するなど、明るい兆しも見えてはおりますが、原材料価格の上昇や、消費増税に対する不安感など、回復期待の中にも先行きの不透明感は払拭されておられません。海外におきましては、米国では緩やかな景気回復が続く一方で、中国をはじめとする新興国では、足元の成長率に陰りが見えております。欧州におきましても、持ち直し傾向にはあるものの、混迷からの脱却には、まだ時間を要すると思われまます。

このような状況の中で、当社グループは、新たな市場の開拓、コスト競争力の強化などに注力し、グループの総合力を駆使して、業績の向上に努めてまいりましたが、国内設備投資の停滞に加えて半導体市場低迷の影響を受け、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は前年同期比5.0%減の8,274百万円となり、経常損失は852百万円（前年同期は経常損失 425百万円）、四半期純損失は982百万円（前年同期は四半期純損失 501百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して250百万円減少し、26,715百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,084百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が1,416百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比較して562百万円増加し、18,701百万円となりました。主な要因は、短期借入金と長期借入金が合計で483百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は、前連結会計年度末と比較して813百万円減少し、8,013百万円となりました。主な要因は、円安に伴い為替換算調整勘定が108百万円増加した一方で、四半期純損失982百万円を計上したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.7%から30.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1,097百万円（43.5%）増加し、3,621百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、787百万円（前年同期は5百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失852百万円により資金が減少した一方で、売上債権の減少1,516百万円により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、265百万円（前年同期は257百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出259百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、449百万円（前年同期は208百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1,157百万円により資金が減少した一方で、長期借入れによる収入1,558百万円により資金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済動向につきましては、米国では緩やかな景気回復が続く一方で、中国や新興国では輸出の鈍化や通貨安の影響で成長に陰りが見えています。また、欧州も回復傾向ではありますが、債務危機や緊縮財政に絡む混迷からの脱却にはまだ時間を要すると思われまます。政策期待が先行するわが国経済も、実感を伴う回復までにはまだ至っておらず、全般的には回復基調にはあるものの、不透明感も払拭できない状況が続いております。

当社グループにおきましては、通信・エネルギー分野をはじめとして、顧客ニーズに対応する製品開発を急ぐとともに、特に回復が見込まれる市場でのサービスサポートを含めた販売活動を強化してまいります。生産活動においては、内製化の推進等による変動費の一層の削減に取り組む等、利益確保に向けた諸施策を実施し、収益性の更なる向上に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,033	4,117
受取手形及び売掛金	6,197	4,780
商品及び製品	1,404	1,755
仕掛品	3,341	3,591
原材料及び貯蔵品	2,401	2,353
その他	365	376
貸倒引当金	△50	△56
流動資産合計	16,693	16,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,132	4,005
機械装置及び運搬具（純額）	2,764	2,828
その他（純額）	2,134	2,170
有形固定資産合計	9,031	9,004
無形固定資産		
投資その他の資産	129	151
投資有価証券	233	229
その他	901	431
貸倒引当金	△22	△21
投資その他の資産合計	1,112	639
固定資産合計	10,272	9,795
資産合計	26,966	26,715
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,988	1,810
短期借入金	7,396	7,509
1年内返済予定の長期借入金	2,227	3,021
未払法人税等	83	47
賞与引当金	163	253
その他	1,012	1,250
流動負債合計	12,872	13,894
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	3,851	3,427
退職給付引当金	990	962
資産除去債務	80	81
その他	244	235
固定負債合計	5,267	4,807
負債合計	18,139	18,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,880	4,880
利益剰余金	6,403	5,481
自己株式	△1,344	△1,346
株主資本合計	9,939	9,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	8
為替換算調整勘定	△1,118	△1,010
その他の包括利益累計額合計	△1,112	△1,002
純資産合計	8,826	8,013
負債純資産合計	26,966	26,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	8,712	8,274
売上原価	6,610	6,512
売上総利益	2,102	1,762
販売費及び一般管理費	2,200	2,520
営業損失(△)	△98	△758
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	11	0
物品売却益	7	10
為替差益	—	64
その他	39	34
営業外収益合計	61	112
営業外費用		
支払利息	144	170
為替差損	177	—
その他	65	35
営業外費用合計	387	206
経常損失(△)	△425	△852
税金等調整前四半期純損失(△)	△425	△852
法人税等	76	129
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△501	△982
四半期純損失(△)	△501	△982

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△501	△982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	2
為替換算調整勘定	△232	108
その他の包括利益合計	△250	110
四半期包括利益	△752	△871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△752	△871

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△425	△852
減価償却費	536	600
賞与引当金の増減額(△は減少)	44	87
受取利息及び受取配当金	△13	△2
支払利息	144	170
為替差損益(△は益)	175	△89
売上債権の増減額(△は増加)	2,013	1,516
たな卸資産の増減額(△は増加)	△988	△399
その他の資産の増減額(△は増加)	△63	△45
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,156	△180
その他の負債の増減額(△は減少)	14	118
その他	23	△0
小計	305	923
利息及び配当金の受取額	12	3
利息の支払額	△143	△164
保険返戻金の受取額	—	99
法人税等の支払額	△209	△101
法人税等の還付額	40	27
営業活動によるキャッシュ・フロー	5	787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△216	△202
定期預金の払戻による収入	222	216
有形固定資産の取得による支出	△222	△259
保険積立金の積立による支出	△22	△11
その他	△18	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257	△265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△615	114
長期借入れによる収入	1,515	1,558
長期借入金の返済による支出	△734	△1,157
社債の発行による収入	100	—
リース債務の返済による支出	△55	△61
その他	△0	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	208	449
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91	984
現金及び現金同等物の期首残高	2,425	2,524
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	112
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,334	3,621

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。